

戸畑区日本共産党後援会三ニュース

とばたの風

第46号

2014年8月発行

発行責任者
配川 寿好

北九州市戸畑区
天籟寺1丁目1番15号
Tel.873-3735
(部内資料)

戦争では何も解決しない 安倍首相に退陣を迫ろう!

憲法破壊のクーデター

自民、公明の与党の密室談合で安倍政権が「集団的自衛権」の行使を容認する閣議決定を強行しました。

国民への説明も、国会でのまともな議論もなく、一内閣の勝手な判断による憲法解釈の変更は、国会での数の横暴、まさに憲法破壊のクーデターです。

国民を守るためではありません
アメリカの戦争への加担です

政府は、日本や国民を守るためであるかのように説明しています。

しかし集団的自衛権の本質は、日本にアメリカの戦争を肩代わりさせるものです。それによって日本の若者の血が流されることとなります。

大切な息子や孫、恋人を戦場に送ることなど、誰が願っているでしょうか。

戸畑祇園も戦争で中断

若者が次々に召集され、帰らぬ人となったかつての戦争。戦火が激しくな



世代も党派も超えて

戦争なんかゴメン

怒りの声をあげる 若者たち

安倍首相は、「武力行使は限定的」、「仮に派遣地域で戦闘がはじまったら直ちに撤退する」などと言っています。

戦争にルールなどない

安倍政権による「戦争への道」は、戦地に散った若者たちの尊い命にかけても、絶対に許すわけにはいきません。

私は言いたい

「戦争への道、許しません」



福建労北九州支部書記次長
平安将隆(30才)さん

今回の閣議決定強行に、心から怒りを覚えます。子どもの頃、祖母から何度も「戦地に行く人も、行かない人も、家族がバラバラにされた」と、無理やり家族を引き裂いた忌まわしい戦争のことを聞きました。

特に、昨年暮れの秘密保護法強行採決で、安倍内閣

※福岡県建設労働組合
北九州支部の事務所は、
戸畑区幸町にあります。

しかし、戦争はいつたん始まったか「やるか」、「やられるか」です。それを知っているかかつての戦争体験者の多くが、「あの時代への逆戻りはごめん」、「大切な人を奪った戦争は繰り返すな」と、安倍政権を批判しています。

あらゆる手段で 退陣求める声を

ガザやウクライナの事態は、

武力では何も解決しないことを改めて教えています。国民の声を聞かない安倍政権には、一日も早く退陣してもらおうしありません。「直ちに退陣を」と、はがきや電話、FAX、首相官邸のホームページへの投稿など、あらゆる手段で声を集中しましょう。

■抗議先

住所・東京都千代田区永田町二丁目3-1
ホームページアドレス www.kantei.go.jp/
電話番号 03-3581-0101
ファックス番号 03-3581-9351

ヨイサ!

集団的自衛権行使に
関する閣議決定。その
重大性がようやく
浸透してきたようだ
▼「戦後日本の大転
換点。私たちがだけ
なく子や孫の世代ま
でが極めて重い荷を持つ」
(NEWS23) 「一内閣の
閣議決定で憲法の基本原理で
ある平和主義をねじ曲げた」
(報道ステーション) とテレ
ビのコメントター▼一般紙
も数紙を除いて、ほぼ行使反
対を主張している。内閣支持
率も低下し始めた。自民、公
明両党は有権者への弁明に大
わらわのようだ。国民をなめ
てはいけない▼「戦争だけは
絶対だめだ」と私たちは聞か
されてきた。憲法9条がある
から戦争はないし、徴兵制も
ないと考えてきた。ここは本
当に勝負どころだ▼内閣支持
率は40%を切ると解散しづ
らくなるという。負けるから
である。となると今のうちに
解散して、「国民の支持を得
た」と一気に彼らにとつての
懸案を片付けるとともに、自
身の在任期間を伸ばそうと画
策するかもしれない▼「黙っ
ていたら10%」とは消費税
引き上げ反対のスローガンだ
が、「黙っていたら戦争をす
る国」だ。安倍内閣を早期に
退陣に追い込む世論と運動が
求められている。たたかいは
これからである。



北九州市会議員 荒川 徹

なぜ、「戦争反対」と言えないのか？

視する」。

市議会でも自・公・維・みんなが「意見書」否決

日本共産党市議団は、「戦争する国にするな」と、「集

安倍政権の「戦争する国」への亡国の政治。「非核・平和都市」を宣言している北橋市長に、日本共産党市議団は6月の市議会で、「あなたは「戦争はいいけません」という答弁を期待しましたが、返ってきたのは、「国の動向を注



市長は国にモノが言えないのか

团的自衛権行使を容認する解釈改憲を行わないことを求める意見書」を市議会に提案しました。しかし、採決で自民、公明、維新の会、みんなの党が反対に回り、否決してしまいました。

市民のいのちとくらしを守ることが市長と市議会の役割です。安倍政権の暴走に市民の危機感と批判が増大するなかで、安倍政権に追隨する市長や、市民の命をないがしろにする各党に、厳しい声を集中しましょう。

地名に秘められた戸畑の歴史 ⑬

戸畑郷土史会会長 小石 善則

大陸航路の先駆者と蟠螭文鏡

牧山古墳から出土した蟠螭文鏡は、古代の海洋民が卓越した航海術を駆使して荒海に繰り出し、大陸に渡っていた証だと考えています。里山という言葉があるように、里海の自然と共生していた古代の人々は、そこから産出する様々なものを大陸に運び、交易を行っていたことでしょう。その産物というのは、まず洞海湾で採れる鮑魚。滋養強壯の薬ともな

り、鮑魚から採れた真珠は大陸で大変珍重されました。また、湾内の二つの小島からは、支子(染料と本草薬)、柴檀(お祓い・鍛冶作業に必要)、烏葛(繊維から紙、布を作る。主に船の帆布。根は本草薬)、冬薑(生姜。香辛料、本草薬)などたくさん山の幸が採れたのでした。

帆柱山周辺から切り出した資材で堅牢な外洋船を造り、これらの産物を携えて当時の

中国の都まで到達していたのが「君宜高官」の文字が入った蟠螭文鏡だったので。それを際に皇帝より授かったのが「君宜高官」の文字が入った蟠螭文鏡だったので。それを際に皇帝より授かったのが「君宜高官」の文字が入った蟠螭文鏡だったので。

そして指揮官は、名護屋崎・正津・洞海を一望できる牧山の丘の古墳に文鏡と共に眠りにつき、水軍の護神になったのです。弥生時代の対外交流の重要な役割を果たした英雄、また後世に貴重な埋蔵文化財を郷土戸畑にもたらした、先史時代の岬に眠る弥生海人！邪馬台国の登場はその数百年後のことです。

いのち奪う戦争は二度としてはいけない

中村五百子さん (仮名90歳)西戸畑在住



昭和20年1月に、顔も知らない軍人と結婚した中村さんは終戦までの7か月間に行く先々で大空襲にあうという体験をしました。

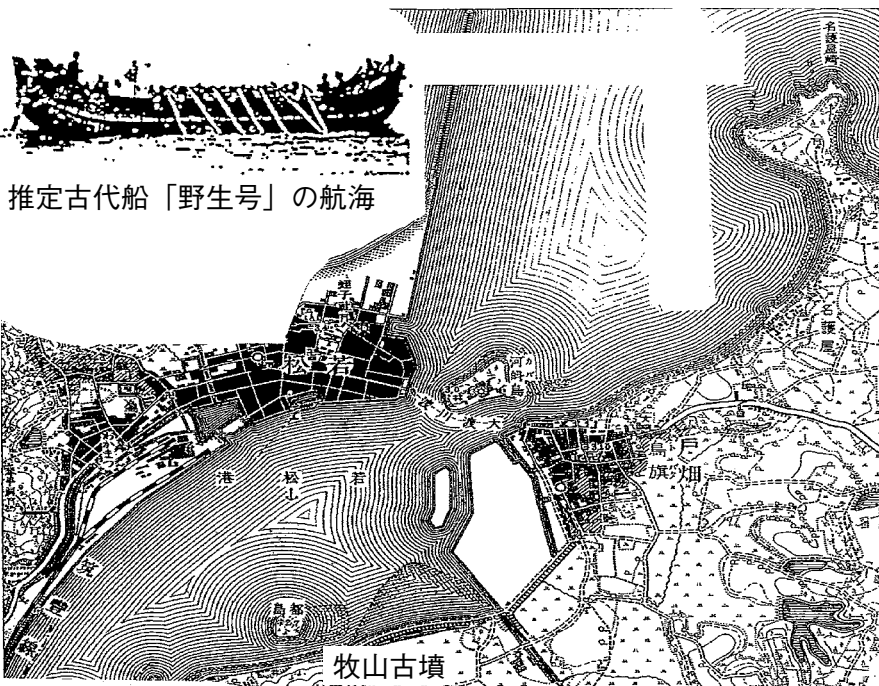
新郎不在の結婚式を戸畑で挙げ、夫のいる大阪に行きました。そこで夫と顔を合わせやっとな新生活をスタートさせた2か月後、大阪は大空襲で焼け野原となりました。港が壊滅状態になり、夫が乗っていた軍艦は呉に移り、中村さんも呉に移って旅館暮らしとなりました。ところが1か月後呉も240機の艦載機に囲まれ、火の海になって宿泊していた旅館も燃えてしまいました。

呉を離れて夫の軍艦は長崎へ移動し、中村さんも後を追いました。8月になって長崎の街には米軍のビラが大量に撒かれ、それを読んだ夫は「ここには危ないから実家に帰れ」と言い、中村さんは戸畑に戻りました。夫の心配はあたり、8月9日長崎に原爆が落とされたのです。

戸畑にいた中村さんも、八幡大空襲の日すぐ目の前に焼夷弾が落ちてきて、生きた心地がしませんでした。この空襲で幼い甥姪をはじめ7人の身内が亡くなりました。

行く先々で空襲にあったものの、幸い夫婦そろって命を拾いましたが、戦後の食糧難や夫が白血病になったことなど、語りつくせないほどのつらい体験をしました。だから「戦争は絶対にイヤ！」

安倍内閣の集団的自衛権をめぐる動きについては「戦争を知らないからできることで、もってのほか」と切り捨てます。「若い人は話してもわからんやろけど」というためらいもありながら、自分のすさまじい戦争体験を二度とくり返さないよう願って、話してくれました。



推定古代船「野生号」の航海

牧山古墳

くすりのことなら
ふれあい薬局戸畑店

戸畑区新池1丁目5-30

☎ 093-881-2332